

事務所 伊那市西町5016-2 TEL(72)0077 例会日 毎週木曜日 会場くぬぎの杜 TEL(78)1121
 会長 荒木康雄 幹事 向山賢悟 会報委員長 唐木 拓 第2972回 例会2022.11.17 No.1633



2022-23 年度 RI テーマ

IMAGINE ROTARY

ソング 我等の生業**会長談話** 荒木康雄会長

11月も半ばを過ぎて晩秋を迎え、山々の紅葉が鮮やかな色彩に彩られ、改めてこの地域の自然の美しさを感じるこの頃です。本日11月第三木曜日は「ボジョレーヌーヴォーの解禁日」です。フランスのボジョレー地区では規定で毎年11月の第三木曜日午前零時からその年のヌーヴォーワインを販売して良いと決められています。ヌーヴォーとは「新しいもの」という意味で、今年収穫したブドウで造られた新酒のことを言います。ブドウの収穫を祝うイベントのようなものですが、日本は日付変更線の関係上、世界でもいち早く飲めるということでブームになりました。ワインはブドウの種類や産地、醸造方法によって様々な味わいのワインが出来上がりますが、フランスワインは法律で厳しく規制され品質管理がなされています。ボルドーやブルゴーニュのグランヴァンなどは、3年間熟成した後でないと出荷してはいけない決まりのものもあり、基本的にワインは熟成すると味がまろやかになり美味しくなります。ボジョレーヌーヴォーは「マセラシオン・カルボニック」(炭酸ガス浸漬法)という特別な醸造方法で造られています。通常の赤ワインはブドウの実を破碎し皮や種と一緒に樽で発酵させますが、ボジョレーヌーヴォーはブドウを破碎せずに密閉タンクに入れ重みでつぶれたブドウが自然発酵し、発生した炭酸ガスが充満したタンクの中で数日間漬けたあとと搾り、その後は白ワインと同じように発酵させます。色が良く出て酸味が柔らかくタンニンが少ないフレッシュでフルーティーなワインが出来上がります。早飲み用に造られたワインですので、何年か置いておいても熟成は期待できません。今年はボジョレー地区は猛暑で降雨量も少なかったため、健康で糖度の高いブドウが収穫され、酸味が少なめで果実味豊か、アルコール分



も高く香りが華やかな例年以上のワインに仕上がったようです。但し、価格は例年の1.5倍~2倍になっています。原因は現地の生産コストの上昇と円安の影響に加え、ロシアのウクライナ侵攻により航空機が最短ルートのロシア上空を飛行できなくなったため輸送コストに影響が生じたためです。

ヨーロッパの諺に「食べ物は肉体を造り、ワインは精神を司る」という言葉があります。秋も深まった今宵は、ワインや日本酒を楽しんで心豊かなひと時をお過ごし下さい。

誕生祝

小坂栄一・三澤清美・山田 益
小松献臣・増田 清・山崎秀亮
本比田哲郎

結婚記念日祝

塚越 寛・増田 清・宮下 裕
唐木一平・平澤泰斗・荒木康雄
中曾根隆文・鈴木正比古

在籍祝

小坂栄一(55)・清水紀光(18)
大石ひとみ(6)

幹事報告 別紙をご覧ください**理事会報告**

1. 11月のプログラム 2. 「いのちのWa コンサート」協賛依頼 3. 慶弔見舞 4. IGM テーマについて これら全て承認された。

在籍表彰 小林孝行会員(30年)

地区大会にて表彰されました。

委員会報告

- ・地区大会報告 荒木康雄会長
2021-22 年度財団寄付の表彰状やバナーが授与されました。
- ・地区補助金事業「中尾歌舞伎伊那 RC 特別公演」報告 唐澤洋祐青少年奉仕委員長
- ・伊那ロータリー杯報告
唐澤洋祐青少年奉仕委員長



上伊那中学校野球専門委員会より、感謝状が授与されました。

・雑誌紹介 11月号「ロータリーの友」
下枝正一副会長



クラブフォーラム ロータリー財団月間赤羽弘之国際奉仕・財団委員長より、R財団と米山奨学会への寄付依頼の説明がされた。

出席報告 会員数 56名 内出席免除者 19名
出席者 29名 事前メーキャップ1名 出席 68.18%

ニコニコボックス

- ・荒木康雄・向山賢悟 菅 靖世会員、本日は卓話をよろしくお願い致します。
- ・小林孝行 中尾座があ場所にある事を知りませんでした。大変良かったです。また、伊那クラブのマレットゴルフ部に、是非皆さん参加して下さい。
- ・小林孝行 30年の在籍表彰をされました。
- ・藤澤秀敬 11月12日(土)中央RCとの合同ゴルフコンペが行われ、伊那RCが勝ちました。
- ・赤羽弘之 財団の寄付について説明させていただきます。
- ・飯島松一 先日東京で、国税庁長官表彰を受けました。
- ・菅 靖世 今日は卓話をさせていただきます。
- ・ゴルフ部上位入賞者
ラッキー賞
- ・宮下金俊・赤羽弘之
- ・増田 清・吉田秀樹
- ・鈴木正比古・唐木拓
- ・三澤 聡



会員卓話 伊那美装俵

菅 靖世会員 演題-「私の履歴書」

コロナが少し落ち着いた頃入会したので、毎週例会に参加させて頂き、少しずつ慣れてきました。

私は昭和46年に大阪 富田林で生まれました。富田林はかつてはPLの野球で有名になりましたが、私の父はPLで布教活動をしていました。

私はPL学園に入学していましたので中学校から寮生活がスタートしました。

今では考えられませんが、寮生活では1年生が先輩の世話をするのが当たり前で洗濯機を使うのも先輩の起きていない朝4時～5時でないと使えません。そのような事が良かったのかわかりませんが、何があってもつらいとか苦しいと思うことなく前向きに物事を考えるようになりました。

その後、母の実家がある名古屋の短大に行きいったんは名古屋で就職しましたが、父の転勤先の伊那市に引っ越して8年ぶりに両親と生活をするようになりました。

仕事を探すためハローワークに行きましたが、名古屋に比べて賃金の低さにビックリしました。一番高いところという理由だけでゴルフ場に就職し、その後の転職で主人の会社に就職しました。伊那美装はメインが清掃業ですが、基板の検査工場などもやっています。

もう1社セントラルソーシングは人材派遣業で主に製造業に派遣しています。伊那美装もセントラルソーシングも売れる商品がなく、人が商品ですから、いかに信頼関係が作れるかが重要になってきます。

私も入社当初は派遣社員の管理業務をやっていましたので社員の大変さはわかるのですが、立場が変わるとそうも言ってもらえません。コロナが流行りだした3年前はリーマンショック以来の売上減少となりました。

その時、私に出来ることは何か必死に考えましたが、営業も何も出来ない私は社員を喜ばせたり、ほめる事しか出来ませんでした。「結束は力なり」が社訓になりますが、社員は朝早くから夜遅くまで一生懸命働いてくれて、一緒に過ごす時間も長く本当の家族のようです。

現在私は主に経理の仕事をやっています。社長になった当初は自分が何をすれば良いのかもわからず、ただ事務作業をするだけの毎日でした。でも仕事をやる中で、夢を作らないと楽しく仕事が出来ない事に気づきました。

現在私は、主人と小学5年生の娘と暮らしています。子供が小さいうちは、それが理由であり積極的に外に出ようと思っていなかったのですが、これからは多くの方々の話を聞き、経営の事をもっと勉強し、自分自身が成長できるよう、そして社会奉仕のできる楽しい夢のある会社になりたいと思います。今後も宜しくお願い致します。

